

発表日 2024年9月27日

報道関係者 各位

厚沢部町

脱炭素先行地域の選定について

厚沢部町及び共同提案者8団体は、環境省の「第5回 脱炭素先行地域募集」に応募し、選定されました。

今後は本提案を実行し、脱炭素社会の実現を推進してまいります。

脱炭素先行地域

1. 脱炭素先行地域とは

2050年カーボンニュートラルに向けて、2030年までに民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴う二酸化炭素排出量の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等を含めた温室効果ガス排出量についても我が国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域です。

環境省は2025年度までに全国で少なくとも100か所の脱炭素先行地域を選定するとしています。

2. 第5回公募における選定状況について

応募件数46件のうち9件選定（9月27日結果公表）されました。

<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/preceding-region/>

（上記URLの環境省HPから選定結果一覧等をご覧ください。）

※令和4年4月に第1回目（26件）、令和4年11月に第2回目（20件）、令和5年4月に第3回目（16件）、令和5年11月に第4回目（12件）が選定されました。

提案内容

1. 提案タイトル

風で循環させる世界一素敵な過疎のまち厚沢部
～国産中型風力発電×地域共生モデル事業～

2. 提案者

厚沢部町

北海道ガス株式会社、株式会社駒井ハルテック、株式会社ハチャム、厚沢部建設協会、楡山林産協同組合、道南うみ街信用金庫、楡山南部立茎アスパラガス生産組合、株式会社キッチハイク

3. 取り組みの全体像

- ・ 地理・自然・社会環境等の観点から、風力発電を活用しやすい地域であり、周辺地域には既に計 156 箇所約 100MW の風力発電を導入済み。
- ・ 本取り組みでは国産中型風力発電を 20 基新規導入し、メーカー・地域新電力会社・地元建設会社が一体となって、地域で建設～維持管理までを町内事業者が一貫して担う、地域に仕事を生み出す中型風力発電事業モデルを構築する。
- ・ 地元業者が請け負うための O&M 研修プログラム化や、地域大学と連携し再エネ事業の地域リーダー人材を育成する事業等を展開する。
- ・ “保育園留学”等の地方創生事業と連動し、移住政策の促進にもつなげ、過疎地域において急速に進む人口減少の緩和を目指して、中長期に元気な過疎地を実現するために風の力を活用する。

問い合わせ先

厚沢部町政策推進課主幹 木口

TEL : 0139-64-3312